

## 発寒商店街振興組合



### 派遣情報

- 派遣期間：2025年5月～2026年3月
- 派遣応援隊員：竹内 大(地元商店街サポーター一部門)
- 派遣内容：DX、既存ホームページの更新改修デザイン等のリニューアルなど



### 悩み

- 各イベントの取材および記事投稿・レポートの作成
- ホームページのお知らせ作成・発行、および調整など
- 理事会への参加・アイデア提言
- 組合で使用する各書類のクラウド化
- 組合員グループLINEの参加促進



### マッチング

- ❖ 札幌市内にある複数の商店街振興組合において、様々な業務支援実績を持つ竹内 大さんを派遣



### 取り組み

#### (1)紙媒体からWEB発信への定着

ホームページ（HP）を自分たちで簡単に更新できるシステム（WordPress）へ全面的に入れ替え。理事による投稿運用マニュアルの作成と、運用のレクチャーを実施しました。

#### (2) スマホ対応と認知向上

スマホ対応を前提としたHPデザインへの改修、過去のイベント記事ウェブ公開支援、Googleマイマップへの情報集約の準備。

### (3) イベント参加人数の向上

「はっさむハロウィン商店街」でのクイズラリー企画の採用・運営支援。  
冬期イベントでの「越冬キャベツ」販売継続と「乾麺試食販売」の試験導入。

### (4) 変化に対応できる組織

30年以上続いた「まちの灯り（アイスキャンドル）」の中止を決定。  
理事LINEでの議事録即時共有（DX推進）、街区（活動エリア）拡大と  
新規加入メリットの議論開始。

### (5) 情報の共有とアーカイブ

年度を通して理事会へほぼすべて参加し、リアルタイムで議事録を作成。  
理事会が終了してから1時間以内に議事録をPDFで全理事へLINE送信し  
共有しました。  
欠席の理事にも素早く確実に情報が伝わり、同時に確かな記録としても残  
るようになりました。



## 取り組みの結果

### 【情報発信の強化と民主化】

これまでの旧ホームページは専門的な知識が必要で、長期間サーバエラーが  
頻発していました。また、制作業者と商店街の間での意思疎通も難しく、春先  
から改修作業が止まっていました。そこで、年末の理事会にて「自分たちで簡  
単に更新できるシステムへの移行」を再決定し、短期間で実施しました。  
この移行とマニュアル作成により、理事など複数の関係者で情報発信を分担  
できる体制が整い、今後は業者に頼らなくても、商店街の手で発信を続けてい  
けるようになりました。

### 【持続可能な組織】

長年の慣習であった「アイスキャンドル」を中止し、かける労力と集客効果の  
バランスを考えた新しい冬イベントへの転換を決めました。これは「続けるた  
めに無理をする運営」から脱却し、これからの時代に合った持続可能な商店街  
運営を選択した大きな転機と言えます。

当日は大雪の影響もあり、イベントとしての課題は残りましたが、「時代に合  
わせて変化し続ける」という前向きな姿勢を理事の皆様が持つ、とても良いき  
っかけとなりました。

## 【地域との接点拡大とファンづくり】

新しく企画したクイズラリーや、地域の特産品を活かした物販の強化を通じて、これまでアプローチが難しかった「子育て世代」をはじめとする、新しいお客様が商店街に足を運んでくれるきっかけを作ることができました。地域の皆様との新しい接点が生まれたことで、未来の「商店街のファン」を増やす大切な一歩となりました。



### 商店街の声

---

- 私たちが知らなかったデジタルやWEBの知識などを丁寧に説明していただき、事務局側の具体的な取り組み方も教えてもらえました。また、スマホ対応やホームページの仕組みについても、専門用語を使わずにわかりやすく解説していただけて大変助かりました。さらなる知識向上のため、継続して支援をお願いしたいと思っています。